

質問 伊藤（正）議員（県民 各務原市）令和8年10月1日（木）

1 日欧宇宙展の効果と宇宙産業の振興について

答弁 知事

各務原市にあります「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」、愛称「空宙博」でございますが、これは議員御指摘のとおり、国内唯一の航空宇宙の本格的な専門博物館であり、これまで航空宇宙に関わる海外の博物館や研究機関と連携した企画展を開催するなど、宇宙開発の歴史と最前線の挑戦を伝え、その魅力を発信し、本年8月に来館者数200万人を達成いたしました。

本議会初日の提案説明で御紹介しましたように、航空宇宙分野等を対象とします本県の地域産業クラスター計画が、中部地域で唯一、先行事例として国から選ばれた背景として、この空宙博が人材育成の拠点として大きな貢献をし、この分野での日本の成長を支えてきた表れであると確信しております。

こうした中、過去最大級の展示規模で開催いたします「日欧宇宙展」でございますが、世代を問わず多くの方々に、国際協力が生み出す技術と挑戦の感動、これを体感していただくことで、宇宙への興味や関心が高まり、宇宙分野に挑戦する若者や新規参入を目指す県内企業が増えることを期待しているところでございます。

宇宙分野におけます産業振興の面では、昨年設立いたしました GIFU スペースビジネス協議会、これを核といたしまして、県内企業の宇宙産業への新規参入や販路拡大を支援しております。会員数はすでに160を超えておりまして、先月開催いたしましたシンポジウムには、情報サービス業や保険業、建設業など幅広い分野の企業の参加があり、宇宙産業への高い関心と参入意欲が示されたところでございます。

今年度からは新たに、県内企業や岐阜大学、県の試験研究機関が参画するワーキンググループを三つ立ち上げまして、宇宙部材へのセラミックスの利用や、宇宙食における県内素材活用の可能性を探るなど、岐阜県発の宇宙ビジネスの創出に向けた取組を始めております。

今後は、海外も含めた宇宙関連企業を招いて県内企業とのマッチングや、投資を呼び込むための金融機関を交えた勉強会を新たに開催し、県内企業の事業参入を後押しすることで、宇宙産業を本県の核となる産業に成長させてまいります。

次に人材育成の面でございますが、岐阜大学と連携して県内高校生向けの宇宙工学講座を開催し、これまでの10年で総勢654名、今年度は過去最多となります139名が、宇宙に関する基礎知識や技術を学んでおります。

また今月からは、高校生に加え若手の企業技術者が参加し、人工衛星の機能を学びながら検証用モデルを製作する講座と、衛星測位データの活用方法を学びながら地域

の課題解決に向けたアイデアを提案する人材育成講座をスタートいたします。

今後も、JAXAをはじめとした関係機関のキーパーソンと意見交換を行いながら、宇宙博の展示や宇宙工学講座の内容の充実を図り、宇宙産業の未来を担う人材の育成・確保につなげてまいります。

担 当 課	航空宇宙産業課
電話番号	058-272-8837
メー ル	c11354@pref.gifu.lg.jp